

# 胸の痛み我慢はダメ

## 犬山中央病院 市民講座、70人参加

犬山市五郎丸の犬山話」と題して講演し中央病院で二十日、同た。伊藤医師は、心臓病院主催の第二回市民講座があり、約七十人が参加した。今後、主な疾病ごとにテーマを決め、住民に開かれた「地域の中核二次医療機関」を目指して定期的に開催する。

初回は、同病院循環器センター長の伊藤一貴医師が「胸が痛くなったら（狭心症の貴医師が「胸が痛くな

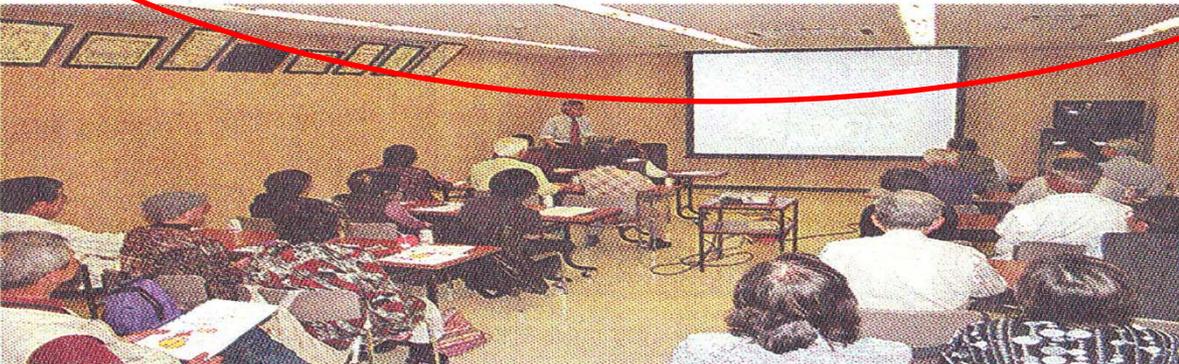
犬山市五郎丸の犬山話」と題して講演し中央病院で二十日、同た。伊藤医師は、心臓病院主催の第二回市民講座があり、約七十人が参加した。今後、主な疾病ごとにテーマを決め、住民に開かれた「地域の中核二次医療機関」を目指して定期的に開催する。

初回は、同病院循環器センター長の伊藤一貴医師が「胸が痛くな

講座は無料で自由に参加でき、事前予約も不要。五月十八日は「がんの話」、六月十日は「頭痛の話」をためには地域の理解と

同病院は「勤務医不参加。五月十八日は足など厳しい環境にあ

「がんの話」、六月十日は「頭痛の話」をためには地域の理解と



胸の痛みをテーマに開かれた第1回市民講座＝犬山市の犬山中央病院で

支援が欠かせない。担当医の顔が見える病院として、住民と交流を深めていきたい」としている。

（野末幹雄）

1111  
68(62)8  
報室Ⅱ電05  
央病院企画広  
る。岡犬山中  
1111

絵本形式の教材使用

うにするカリキ  
います。テキマ



第1回講座「胸が痛くなったら」の様子＝犬山中央病院で

## 医療や健康に関する

# 市民講座をスタート

次回は5月18日

# 「がんの話」

犬山中央病院

犬山市五郎丸の犬山中央病院（竹腰昭道院長）は、医療や健康に関する市民講座を定期的開催することにし、その第1回講座「胸が痛くなったら（狭心症の話）」を4月20日に開きました。医療に関する情報があふれる中にも、多くの市民が病気について悩んだり不安に感じたり

している状況を少しでも和らげたいと立ち上げたもので、最前線で治療に当たる医師や医療関係者が講師を務めます。当日講師を務めたのは狭心症におけるバルーン療法やステント療法などカテーテル治療法で高い実績を上げる循環器センター長の伊藤一貴医師。胸の痛みに対し「どの辺

りが痛いのか。いつ、どんな時に起こるのか。どのくらい続いたのか。その他に症状はあるのかが狭心症や心筋梗塞の大きなポイント」と講座が始まりました。

「有意義な話が聞ける」と参加した71歳の女性をはじめ会場には高齢者を中心に近隣市町から50人ほどが参加。心臓の仕組みを立体映像で説明したり、実際のバルーン療法の映像を映したりと、素人にも分かりやすいよう進められた講演に、メモを取りながら熱心に耳を傾ける皆さん。講演後の質疑応答では「血栓と狭心症の関連は」「ステントの寿命は」「ステントを入れてもMRは撮れるの」など、多くの質問が上りました。

「外来では聴けないことを尋ねたり、医師の話を聞いてその場で分からないところを質問する機会をつくりたかった」と竹腰院長。今後も気軽に参加してくださいと話しています。

次回は、5月18日午後1時「がんの話」、6月15日午後2時「頭痛の話」を予定。当日どなたでも参加できます。